



2020年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 神戸物産

コード番号 3038 URL <https://www.kobebussan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沼田 博和

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 匡浩

TEL 079-496-6610

四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (<https://www.kobebussan.co.jp/ir/news.php>)

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第1四半期の連結業績 (2019年11月1日~2020年1月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第1四半期	81,597	15.5	5,634	33.5	5,751	42.2	3,559	32.1
2019年10月期第1四半期	70,636	5.1	4,219	11.1	4,045	19.8	2,695	3.3

(注) 包括利益 2020年10月期第1四半期 3,775百万円 (34.3%) 2019年10月期第1四半期 2,810百万円 (0.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第1四半期	33.11	32.44
2019年10月期第1四半期	25.26	24.85

(注) 当社は、2019年11月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2019年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年10月期第1四半期	144,975	52,472	31.7	426.79
2019年10月期	150,154	50,568	29.5	412.01

(参考) 自己資本 2020年10月期第1四半期 45,912百万円 2019年10月期 44,272百万円

(注) 当社は、2019年11月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2019年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年10月期	—	—	—	—	—
2020年10月期 (予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2019年11月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2020年10月期の配当予想における1株当たり配当金25円00銭につきましては当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2020年10月期の配当予想における1株当たりの年間配当金は50円00銭となります。

3. 2020年10月期の連結業績予想（2019年11月1日～2020年10月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	151,900	5.1	9,890	6.1	9,890	4.2	6,480	7.1	60.55
通期	311,800	4.1	20,300	5.5	20,300	4.5	13,300	10.3	124.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年10月期1Q	136,800,000株	2019年10月期	136,800,000株
② 期末自己株式数	2020年10月期1Q	29,224,632株	2019年10月期	29,344,632株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年10月期1Q	107,502,516株	2019年10月期1Q	107,007,302株

（注）1. 当社は、2019年11月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2019年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を記載しております。

2. 2019年10月期及び2020年10月期の期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）が所有する当社株式88,000株を含めております。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年11月1日～2020年1月31日)における我が国の経済は、雇用環境の改善や企業の経営成績に緩やかな回復が見られたものの、英国のEU離脱問題や不安定な中東情勢のほか、中国の景気減速による世界経済への影響が懸念され、依然として先行き不透明な状態で推移いたしました。

食品小売業界におきましては、消費者の節約志向が根強い中、業界の垣根を越えた競争の激化や、原材料の高騰、人件費の上昇及び人手不足などを背景に、経営環境は引き続き厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「食の製販一体体制の確立」というグループ目標のもと、積極的な商品開発を推し進め、グループ全体の競争力を強化してまいりました。また、製造から販売までを手掛けることで、お客様のニーズを素早く商品開発に反映させることにより、プライベートブランド商品(以下、PB商品)をはじめとした高品質で魅力のある商品をベストプライスで提供してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は81,597百万円(前年同期比15.5%増)、営業利益は5,634百万円(同33.5%増)、経常利益は5,751百万円(同42.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,559百万円(同32.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①業務スーパー事業

当第1四半期連結累計期間の業務スーパー事業における出店状況は、出店9店舗、退店3店舗、純増6店舗の結果、総店舗数は851店舗となりました。新規出店の内訳といたしましては、直轄エリア7店舗、地方エリア2店舗であります。出店に関しましては関東エリアや九州地方への出店を中心に新規出店を進めており、また、営業年数が長くなり老朽化してきた店舗の移転などを積極的にフランチャイズオーナーに勧めております。

業務スーパーの魅力であるPB商品が多くのメディアで取り上げられ、業務スーパーの認知度の向上や新規顧客の獲得に繋がっております。そのことが業績の拡大に貢献したものと考えております。

この結果、業務スーパー事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は71,792百万円(前年同期比16.2%増)となりました。

②神戸クック事業

当第1四半期連結累計期間の神戸クック事業における出店状況は、外食事業において日本最大級の大型バイキングチェーンである「神戸クック・ワールドビュッフェ」で、出店2店舗、退店1店舗、純増1店舗の結果、総店舗数は全国で23店舗となりました。加えて、中食事業において日常の食卓の代行をコンセプトとして安全・安心・価格にこだわった「馳走菜」で、出店4店舗、退店0店舗、純増4店舗の結果、総店舗数は全国で14店舗となりました。

「神戸クック・ワールドビュッフェ」はリーズナブルに世界各国のお料理を召し上がっていただけることが支持され、メディアでも注目をされております。

「馳走菜」は業務スーパーに併設した出店を進めており、業務スーパーの客数増加に貢献する事例もあるなど、シナジー効果が発揮されております。

この結果、神戸クック事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は706百万円(同29.6%増)となりました。

③クックイノベーション事業

当第1四半期連結累計期間のクックイノベーション事業は、QSCの強化を図り、安全・安心でお客様にご満足いただける商品提供への取り組み強化と併せ、ブランド力が高い業態への業態転換、新規出店やフランチャイズ加盟開発の強化に努めてまいりました。

主要業態では、天候不順や消費税増税の影響を受けたものの、不採算店舗の撤退などによる収益改善が見られました。焼肉業態においても計画通り順調に店舗数を伸ばしております。

この結果、クックイノベーション事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は8,392百万円(同9.2%増)となりました。

④エコ再生エネルギー事業

当第1四半期連結累計期間のエコ再生エネルギー事業は、新規発電所の稼働がありませんでした。稼働している発電所と発電量は、前連結会計年度末と同じく太陽光発電所が16か所で約22.0MW、木質バイオマス発電所が1か所で約6.2MWとなっております。

この結果、エコ再生エネルギー事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は537百万円(同1.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は144,975百万円となり、前連結会計年度末と比較し5,179百万円減少いたしました。主な要因は、流動資産の減少5,798百万円であります。

流動資産の減少の主な要因は、借入金の返済及び配当金の支払いなどによる現金及び預金の減少10,377百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は92,502百万円となり、前連結会計年度末と比較し7,083百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金の減少2,482百万円及び長期借入金の減少3,351百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は52,472百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,904百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加1,408百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月13日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,525	61,148
受取手形及び売掛金	16,397	15,464
有価証券	—	5,000
商品及び製品	6,456	6,801
仕掛品	325	270
原材料及び貯蔵品	1,427	1,496
その他	2,827	2,981
貸倒引当金	△94	△95
流動資産合計	98,864	93,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,184	13,819
土地	12,905	12,974
その他(純額)	15,564	15,867
有形固定資産合計	41,653	42,661
無形固定資産	1,964	1,947
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,551	3,506
その他	5,083	4,769
貸倒引当金	△963	△976
投資その他の資産合計	7,671	7,299
固定資産合計	51,289	51,908
資産合計	150,154	144,975

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,897	19,414
短期借入金	13,854	15,358
1年内償還予定の社債	1,543	1,353
未払法人税等	4,206	1,890
賞与引当金	306	177
店舗閉鎖損失引当金	65	19
その他	5,442	5,291
流動負債合計	47,315	43,503
固定負債		
社債	1,454	1,374
長期借入金	42,343	38,991
退職給付に係る負債	547	554
預り保証金	6,179	6,253
資産除去債務	1,289	1,323
役員株式給付引当金	23	27
その他	432	474
固定負債合計	52,270	48,999
負債合計	99,586	92,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	64	64
資本剰余金	8,405	8,443
利益剰余金	47,118	48,526
自己株式	△9,641	△9,601
株主資本合計	45,946	47,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
為替換算調整勘定	△1,672	△1,518
その他の包括利益累計額合計	△1,673	△1,519
新株予約権	787	980
非支配株主持分	5,507	5,579
純資産合計	50,568	52,472
負債純資産合計	150,154	144,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年1月31日)
売上高	70,636	81,597
売上原価	59,820	68,616
売上総利益	10,816	12,980
販売費及び一般管理費	6,596	7,346
営業利益	4,219	5,634
営業外収益		
受取利息	46	51
受取配当金	0	0
受取賃貸料	19	18
デリバティブ評価益	—	46
補助金収入	39	14
その他	185	168
営業外収益合計	291	299
営業外費用		
支払利息	108	85
為替差損	128	1
賃貸収入原価	5	7
デリバティブ評価損	179	—
貸倒引当金繰入額	3	14
その他	38	73
営業外費用合計	465	182
経常利益	4,045	5,751
特別利益		
固定資産売却益	157	12
新株予約権戻入益	1	2
特別利益合計	158	15
特別損失		
固定資産除却損	6	8
固定資産売却損	16	—
減損損失	1	24
店舗閉鎖損失	5	3
店舗閉鎖損失引当金繰入額	16	13
特別損失合計	45	49
税金等調整前四半期純利益	4,158	5,717
法人税、住民税及び事業税	1,168	1,750
法人税等調整額	246	345
法人税等合計	1,415	2,095
四半期純利益	2,743	3,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,695	3,559

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	2,743	3,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
為替換算調整勘定	67	153
その他の包括利益合計	66	153
四半期包括利益	2,810	3,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,762	3,712
非支配株主に係る四半期包括利益	47	62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年11月1日至2019年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	業務 スーパー 事業	神戸 クック事業	クックイノ ベンチャー 事業	エコ再生 エネルギー 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	61,793	545	7,688	528	70,555	81	70,636	—	70,636
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	433	0	—	—	433	—	433	△433	—
計	62,226	545	7,688	528	70,988	81	71,070	△433	70,636
セグメント利益 又は損失(△)	4,526	28	245	20	4,820	△56	4,764	△544	4,219

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備賃貸事業、観光事業、ガレオン事業等を含んでおります。
 2. 調整額は以下のとおりであります。
 (1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。
 (2) セグメント利益又は損失の調整額△544百万円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「クックイノベンチャー事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において、1百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年11月1日至2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	業務 スーパー 事業	神戸 クック事業	クックイノ ベンチャー 事業	エコ再生 エネルギー 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	71,792	706	8,392	537	81,428	169	81,597	—	81,597
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	586	45	—	—	632	—	632	△632	—
計	72,378	752	8,392	537	82,060	169	82,229	△632	81,597
セグメント利益 又は損失(△)	6,073	51	227	46	6,398	△48	6,350	△715	5,634

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、焼肉事業、設備賃貸事業、観光事業等を含んでおります。
 2. 調整額は以下のとおりであります。
 (1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。
 (2) セグメント利益又は損失の調整額△715百万円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失を24百万円計上しております。当該減損損失の計上額は、「業務スーパー事業」セグメントにおいて0百万円、「クックイノベンチャー事業」セグメントにおいて23百万円あります。